


このたびは WRX6000 シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

<p>ご注意</p> 	電源 ON 時の起動時間	本製品は電源 ON 時、CF カードの認識等のため約 3 秒間の起動時間を必要とします。4 秒後から再生制御を行って下さい。
	カードデータの互換性	本製品は、他の WRX6000/7000 シリーズや WAV シリーズのカードデータと互換性があります。(ERX6500 など一部機種を除く) エディタソフトで再登録すればご利用できます。
	CF カード 「コンパクトフラッシュ」	製品添付の CF カードをご使用下さい 市販の CF カードの中には使用できない物があります。必ず、動作確認の上、ご使用願います。
	エディタソフト VoiceNavi Editor	登録エディタソフト VoiceNavi Editor をご使用下さい

目次		
■	エラー対策シート (トラブルシューティング)	2
1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	梱包内容(付属品内容)	3
5	オプション	3
6	メモカード(CF カード)	4
7	登録時間と再生時間	5
8	使用電源	5
9	音声出力と調整	5
10	ラインスルー/カット機能	6
11	自己復旧機能	6
12	各部の名称と機能・外形寸法図	6
13	端子台	7
14	LED 表示灯	7
15	各種設定—モードスイッチ (再生モード)	8
16	接続・調整	8
17	制御 — 入出力信号・タイミングチャート	10
18	制御 — バイナリ制御	10
19	制御 — シリアル制御	11
20	カードデータの作成・CF カードへのコピー	12
	VoiceNavi Editor No.-接点端子対応表	13
21	カードデータ互換性について	13
■	標準仕様	14
	外形寸法図	14
■	接続参考図	15
■	設置図	16

VoiceNavi

エラー対策シート(トラブルシューティング)

エラー対策には、パソコン、 CF カード用カードアダプタとエディタソフト VoiceNavi Editor が必要です。
また予備の空きの CF カードがあればなお良い。

【電源 ON 後の起動時間】	CF カードの認識 (カード内のデータ有無など)のため、3 秒間必要です。 4 秒後に PLAY LED の点灯点滅をチェック 次にホスト側から制御して音声データ有無を確認して下さい。
----------------	---

困った状態	LED表示	原因	対処方法
まったく再生しない (電源 ON 時)	PLAY の LED が点滅	CF カードのフォーマットが違う	「FAT32」や「NTFS」形式のフォーマットは認識できません。 「FAT」形式でフォーマットし、カードデータをコピーして下さい。
	PLAY の LED が点滅	CF カード内にカードデータファイルがない	カードデータフォルダはあるが、カードデータファイル (.wpl)がない。 フォルダ内のカードデータを確認し、フォルダ毎カードデータを再度コピーします。
	PLAY の LED が点滅	CF カード自体を認識できない	当社商品では認識できない CF カードが一部あります。 他の CF カードをお試し下さい。 同一メーカー・型番の CF カードでも認識できない場合、他の CF カードをお試し下さい。
まったく再生しない (再生制御時)	PLAY の LED が点滅	音声データがない	音声データ(WAVE ファイル)がない。 確認して、フォルダ毎カードデータを再度コピーします。
	PLAY の LED が点滅	音声データのファイル名が認識できない	ファイル名に使用できる文字は「数字と大/小のアルファベットの半角8文字まで」です。ファイル名変更後、再度 VoiceNavi Editor にてカードデータ作成を行います
		制御ミス	アドレスミスまたは論理ミス (正反対)
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
再生しない接点・アドレスがある (再生制御時)	PLAY の LED が点滅 * (再生時)	そのアドレスに対応した音声データがない	CF カードにコピーした際、漏れが生じたので、その WAVE ファイルをコピーします。
	PLAY の LED が点滅 (再生時)	WRX シリーズに適用していない WAVE ファイル	(パソコン上でも再生できても、 WRX シリーズ上では再生できない形式のデータ。 WindowsOS のアクセサリ「サウンドレコーダ」でファイル読み込みし、試聴後、再保存する。
再生しない接点・アドレスがある (接続・調整)		音量ボリューム 「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し (特に COM 端子部) 再接続
		制御ミス	データのない CH を再生制御している

(注) *1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

VoiceNavi

1.概要

WRX6300 は、音源データに「 WAVE ファイル」、記憶媒体に Flash カード「コンパクトフラッシュ」を採用、 255CH-バイナリ制御、255CH-シリアル制御、600Ωライン出力、1W アンプ搭載、EIA1Uハーフサイズのアナウンスマシンです。

音源データ(WAVE ファイル)の登録は無償 WEB 配布の登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)上で行います。

WAV3000-B/WAV3000-R の後継モデルです。

2.特長

- AC100V 電源 (またはDC+ 24V/12V 電源)
- EIA1U ハーフサイズ 210W×164D×44Hmm
- ライン出力 600Ω 不平衡
- スピーカー出力 1Wmax.8Ω
- WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono
- CF カード採用 32/64/128/256MB
- 登録時間 44 分 max.(256MB 44.1KHz 16Bit 時)
- 255CH -バイナリ制御
- 255CH -シリアル制御
- ウォッチドックタイマーによる自己復旧機能
- 外部出力 BUSY(再生中)・ALM(CPU 異常)
- 無償 WEB 配布-エディタソフト VoiceNavi Editor
- テキスト入力音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer 対応

3.主な用途

- 電車接近放送の音源部
- ダム・水門放流警報の音源部・
- 広域防災放送の音源部・
- ホール放送の音源部・
- 無線インターカムシステムの音源部・
- 構内 PHS システムの音源部・
- WAV3000-B 後継機 (注)一部の再生モード、機能が搭載されていません
- WAV3000-R 後継機 (注)一部の再生モード、機能が搭載されていません

4.梱包内容 (付属品内容)

添付品をご確認下さい。

名称	数量
取扱説明書	1 部
保証書	1 部

5.オプション

名称	内容	
EIA 補助金具 EIA210S	EIA ラック 1 台収納用 (サイドアングル付)	
EIA 補助金具 E/2S	EIA ラック 2 台収納用 (サイドアングル付)	
L 金具 LKANAGU	固定用	
エディタソフト	CD 版 VoiceNavi Editor パック版 (カードアダプタ付)	CD 版-有償 または無償 WEB 配布
<テキスト入力> 音声データ作成ソフト	CD 版 VoiceNavi Editor	CD 版-有償

6. メモリカード (CF カード)

下記のCFカードまたは相当品がご使用できます。なお市販の CF カードの中には正常に動作しないものがあります。必ず、動作確認の上ご使用下さい。

【指定 CF カード】 (注)ハギワラシスコム、東芝製の CF カードは使用できません。

カード容量	登録時間	バッファロー	IO データ
	44.1/22.05KHz 時		
32MB	約 5/11 分	RCF-X32MY	CFS-32M
64MB	約 11/22 分	RCF-X64MY	CFS-64M
128MB	約 22/44 分	RCF-X128MY	CFS-128M
256MB	約 44/88 分	RCF-X256MY	CFS-256M

(注)指定メーカー・型式の CF カードでも正常に動作しないものがあります。必ず、動作確認の上ご使用下さい。

【CF カードに関するトラブル】

CF カードの場合、スマートメディア・SD カードと異なり、完全な 統一品ではありません。

これは主にカード内のカードコントロール LSI、Flash メモリに起因しています。

CF カードの大量購入する場合、必ず、動作確認の上、ご購入下さい。

- カードの脱着 必ず、電源 OFF 状態でカードの脱着を行って下さい
再生 / 録音中に行くと、カード内部が破損します。
- デジカメで使用したカードの場合 そのままでは使用できません。
【フォーマット】 Windows パソコンで「フォーマット」処理をします。

■電源 ON 時の起動時間 (CF カード認識時間)

CF カードの認識 (カード内のデータ有無など) のため、4 秒間必要です。

4 秒後に PLAY LED の点灯点滅をチェック。次にホスト側から制御して音声データ有無を確認して下さい。

電源 ON 時の起動時間 (CF カード認識時間)	約 4 秒間
------------------------------	--------

■電源 ON 時の起動時間 (CF カード認識時間)

カードフォーマットが違う

・CF カード内にカードデータフォルダやカードデータファイルがない

・当社商品と適合しない CF カード

市販の CF カードの中には本機で認識できない、正常に動作しないものもあります。

動作確認の上、ご使用下さい。

■CF カードのフォーマット

適用カードフォーマット: FAT (注)FAT32 や NTFS でフォーマットしないで下さい

- (注)
- ・市販の CF カードは、通常「FAT」フォーマットです。そのまま使用できます。
 - ・デジカメなどで使用した CF カードは使用できません。FAT フォーマットしてからご使用下さい。
 - ・FAT32 や NTFS などでフォーマットした CF カードは、WRX/WAV シリーズでは認識できません。
 - ・フォーマットやコピーする場合、USB カードアダプタなどのアクセスランプの消灯後、約 3 秒程度経過してから脱着して下さい。アクセスランプの消灯後も、CF カード内にアクセスしている場合があります。

VoiceNavi

7.登録時間と再生時間

登録時間

音声データ(WAVE ファイル)はエディタソフト VoiceNavi Editor で登録します。

登録できる時間はカード容量とサンプリングモードによります。

カード容量	44.1KHz		22.05KHz	
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit
32MB	5.6 分	11.2 分	11.2 分	22.4 分
64MB	11.2 分	22.4 分	22.4 分	44.8 分
128MB	22.4 分	44.8 分	44.8 分	89.6 分
256MB	44.8 分	89.6 分	89.6 分	179.2 分

再生時間

登録時間またはエディタソフト上でプログラム登録した場合はその内容による

[登録エディタソフト VoiceNavi Editor プログラム登録機能]

1 接点端子 組立再生 8 データ max. リピート回数 5 回 max.

8.使用電源

商用 AC100V または DC 電源で使用できます。

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
AC 電源	商用 AC100V	約 9W	約 13W	50/60Hz SP OUT 1Wmax. 8Ω

(注)AC 電源で使用する場合、DC 電源では使用できません。(接続しないで下さい)

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
DC 電源	DC+24V±5%	約 150mA	約 230mA	SP OUT 1Wmax. 8Ω
	DC+12V±5%	約 200mA	約 380mA	SP OUT 1Wmax. 8Ω

(注)DC 電源で使用する場合、AC 電源では使用できません。(接続しないで下さい)

安定かつノイズ・ハムは少ない電源をご使用下さい

9.音声出力と調整

■ライン出力

	コネクタ	規格	備考欄
LINE 出力 1	PIN Jack(RCA)	600Ω 不平衡 0dB (?3dBm~8dBm)	全出力

(注)コネクタケーブルを使用する場合、シールド線を使用し、外部ノイズにご注意下さい。

【出力調整】

	調整	
LINE 出力 1	ボード上半固定 VR 1	工場出荷時約 0dBm 設定 半固定 VR で調整 ?3dBm~8dBm

■スピーカー 出力

コネクタ	規格	備考欄
CN6	1Wmax. 8Ω DC+24V 時 1Wmax. 8Ω DC+12V 時	

【出力調整】

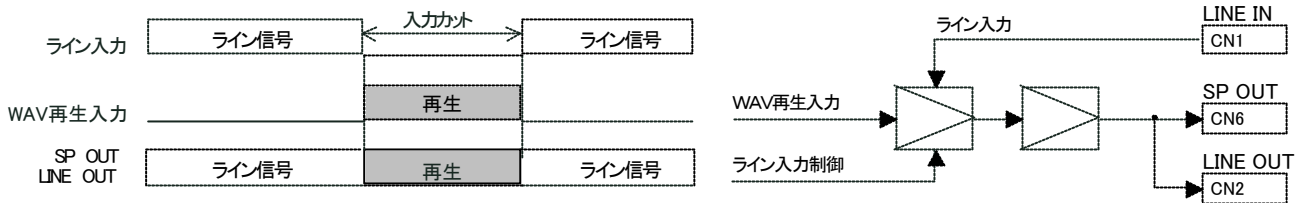
調整	備考欄
シャフト式可変ボリューム	

VoiceNavi

10. ラインスルー/カット機能

マイク等の外部からの音源を入力 (LINE IN) できます。(ピンジャック対応)

本機がスタンバイ状態の時 (未再生時) は、ラインからの入力そのままスルーにて LINE OUT より出力され、再生がスタートすると、ラインからの入力はカットされ、再生データが出力されます。

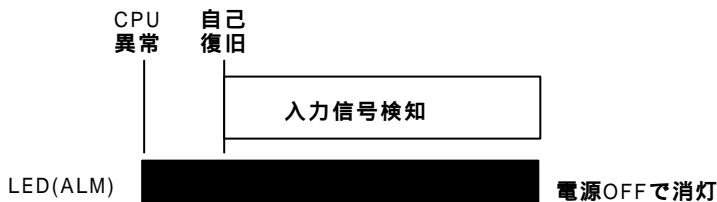


11. 自己復旧機能

万一、外来ノイズ等により、WRX シリーズ上の CPU が暴走した場合に、ウォッチドッグタイマーにより CPU を強制リセット、入力信号待機状態になります。

自己復旧機能が作動したことを知らせるため、アラーム出力を保持並びにアラームLEDの点灯を保持します。電源リセットで、保持を解除します。

(注) CPU 以外の部品、回路等のハード故障等では作動しませんのでご注意ください。



自己復旧以降も電源 OFF するまで、点灯を保持します。

周囲にノイズ発生源がある場合はノイズ対策をして下さい。

自己復旧機能が作動した場合の対策】

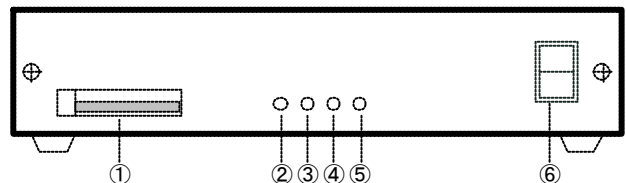
周囲にモーターなどノイズ発生源がありますのでノイズ対策を行って下さい。

- ・電源ライン
- ・制御ライン
- ・音声出力ライン

12. 各部の名称と機能 外形寸法図

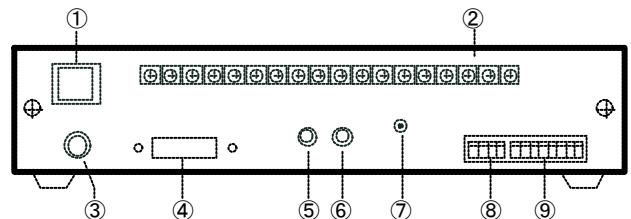
【フロントパネル】

No.	名称
1	カード挿入口
2	CARD IN LED
3	PLAY (再生中) LED
4	ALARM LED
5	POWER LED
6	POWER スイッチ



【リアパネル】

No.	名称
1	AC IN AC100V 電源コード
2	端子台
3	FUSE ヒューズホルダー 0.5A
4	RS232C RS-232C 用コネクタ
5	EX IN LINE IN 用 PIN ジャック
6	LINE OUT LINE OUT 用 PIN ジャック
7	SP VR 音量ボリューム
8	MODE2 モード 2 スイッチ
9	MODE1 モード 1 スイッチ




VoiceNavi

13.端子台

【端子台】 サトーパーツ : ML-40S24XF18P

M3×18P

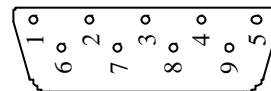
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18


	表示	I/O	レベル (H/L)	内容
1	DC IN +	I		DC+12/24V 電源入力
2	DC IN GND	I		DC+12/24V 電源入力 GND
3	SP OUT +	O		スピーカー出力 1W
4	SP OUT -	O		スピーカー出力 1W GND
5	COM	I		制御信号用 GND
6	ALM	O	L	ALM(アラーム)信号出力
7	BUSY	O	L	BUSY(ビジー)信号出力
8	OP	I	L	STB 信号入力(バイナリ制御時使用)
9	STOP	I	L	STOP 信号入力
10	1	I	L	D0
11	2	I	L	D1
12	3	I	L	D2
13	4	I	L	D3
14	5	I	L	D4
15	6	I	L	D5
16	7	I	L	D6
17	8	I	L	D7
18	COM	I	L	制御信号用 GND

【RS232C 用コネクタ】■(D-SUB9ピン ヒロセ: HDEB-9P)

※他のピンは未使用

No.	信号名	機能
2	RXD	受信データ
3	TXD	送信データ
5	GND	信号用 GND



RS-232C用コネクタ

(注)ケーブルはクロスケーブルをご使用下さい

14. LED表示灯

名称		内容
CARD IN LED	カード LED	CF カードがコネクタに装着されると点灯、排出されると消灯
PLAY LED	再生中 LED	再生中点灯 & エラー表示(エラー対策シート参照)
ALM LED	アラーム LED	ボードに CPU 異常が生じた時(制御不能)に点灯、電源再投入で消灯
POWER LED	電源 LED	電源(DC 電圧)投入にて点灯

【LED動作表】

	LED	点滅	点灯	消灯
LED1	POWER		電源オン	
LED2	PLAY	CF カード内にカードデータフォルダが存在しない時		電源オフ
		再生行った CH にファイルが存在しない時		・ファイルが存在する ・別な CH が起動された時 ・STOP 入力
			再生中	再生終了

VoiceNavi

LED3	CD		CF カード IN	CF カード OUT
LED7	ALM		CPU 異常が生じた時	電源オフ

(注) ALM LED は自動復旧機能で復旧した場合でも、電源 OFF リセットしない限り、点灯状態を継続します。

15. 各種設定 モードスイッチ (再生モード)

モードスイッチ

モードスイッチ 1 (SW1)



1-4	5-8
再生モード	未使用

モードスイッチ 2 (SW2)



1-4
未使用

再生モード

モードスイッチ 1 で設定します。電源 ON 時有効になります。

ご注意	【電源 ON 時の起動時間】
	本製品は電源 ON 時、CF カードの認識等のため約 4 秒間の起動時間を必要とします。4 秒後から再生制御を行って下さい。

1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード
			●					1 シリアル制御 (RS232C)
●			●					2 特定用途用A (使用できません)
			●					・ ・ 未使用 ・
●	●	●	●					8 バイナリ制御

・・・ ON

16. 接続 調整

取扱・操作上のご注意

Flash カード 「コンパクトフラッシュ」	カードの脱着	必ず、電源 OFF の状態で、カードを脱着して下さい。
	再生中のカードの脱着	カード内部に Flash メモリ自体が破損する場合があります。
DC 電源	+-の極性	DC 電源には+-の極性がありますのご注意下さい。
		電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。
信号の配線		信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。IC 等が破壊されます。
	LINE-OUT SP-OUT	信号入出力、SP、LINE の配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。できるかぎり、シールド線等をご使用下さい。

VoiceNavi

本書記載の「各部の名称・機能」接続参考図を参照し、接続して下さい。

	No.	設定項目	内容
セッティング	1	制御ラインの接続	【バイナリ制御】 COM D0-7、STB、BUSY を接続します。 必要に応じて STOP、ALMなどを接続します。
			【シリアル制御】 シリアル通信線(TxD RxD GND)を CN13 に接続します。 必要に応じて STOP、BUSY、ALMなどを接続します。
	2	音声出力ラインの接続	ライン出力の PIN ジャックと外部アンプ・通信機器の LINE IN を市販の PIN ジャックケーブル等で接続します。 必要に応じて、定格1 W スピーカーを接続します。
	3	電源ラインの接続	AC コンセントを接続します。
	4	各種設定 MODE1 スイッチ	MODE1 スイッチで、再生モードをセットします。
	5	Flash カード「コンパクトフラッシュ」のセット	コンパクトフラッシュはメーカー・型式指定
	6	電源 ON	POWER(LED1), CARD(LED3)が点灯
再生 音量調整	1	再生	【バイナリ制御】 上位ホスト側より、アドレス入力 ・再生。 音声データ内容を確認します。
			【シリアル制御】 上位ホスト側より、データ入力 ・再生。 音声データ内容を確認します。
	2	音量調整	ライン出力は装置内ボード上の半固定ボリュームを調整。 スピーカー出力は音量調整ボリュームを調整

配線上的 ご注意	共通	モーター、ソレノイド、リレーなどがある場合、必ず、ノイズ対策を行って下さい。
	LINE OUT 配線	シールド線の使用を推奨します。
	スピーカー配線	5m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用 下さい。 なお、屋外配線の場合、雷等で帯電し、破損する可能性が大き くなります。 屋外配線の場合、ハイインピーダンスアンプ・スピーカーで行って下さい。
	制御関係の配線	1m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用 下さい
	電源関係の配線	モーターなどの電源ラインと一緒に配線しないで下さい。
電源の選択	低イズ・安定化電源	ノイズの少ない、安定した電源をご使用下さい
ノイズ対策		本機は<FA仕様>ではありません。原則としてノイズ環境下ではご使用できません。 ノイズがある場合、誤動作を生じる場合があります。 【ノイズ対策を行う場合】 ・本機を金属ケースまたはシールド板等でケーシングします。 ・スピーカー・ライン出力ライン ・制御ライン ・電源ライン (注)ノイズが乗り易い

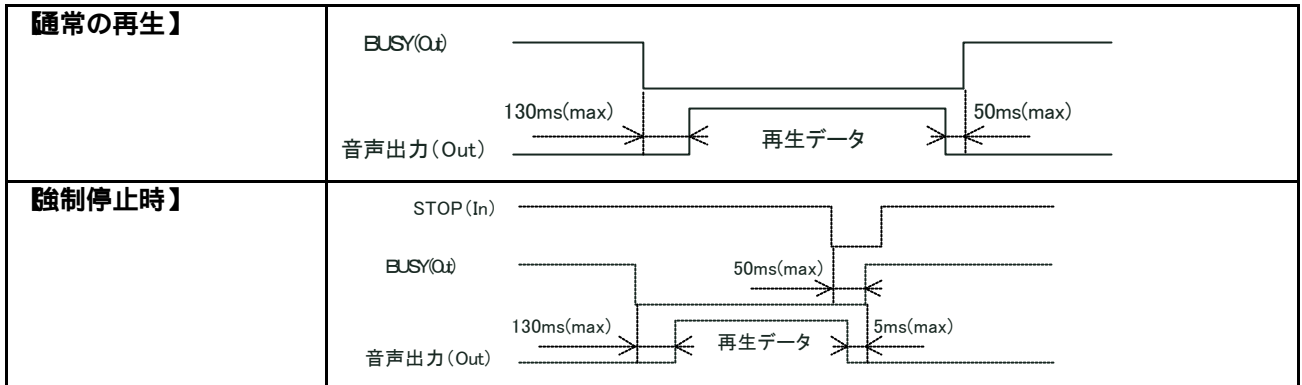
17.制御 - 入出力信号・タイミングチャート

ご注意	【電源 ON 時の起動時間】
	本製品は電源 ON 時、CF カードの認識等のため約 3 秒間の起動時間を必要とします。 4 秒後から再生制御を行って下さい。

■入出力信号 (/BUSY/ALM/STOP/STB)

信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	
/ALM	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	
/STB	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/STOP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上

■タイミングチャート



18.操作 バイナリ制御

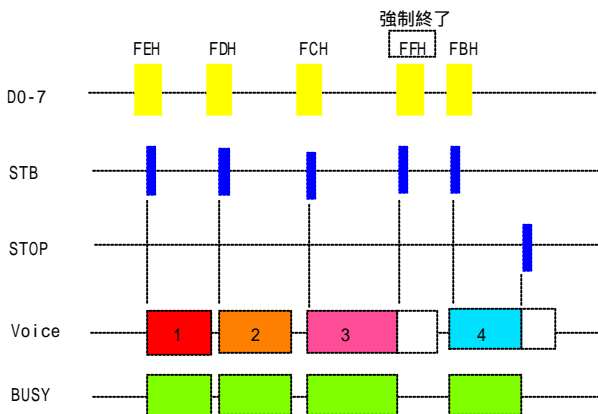
再生チャンネルは 1CH(FEH) から 255CH(00H)までとします。

〈再生中受信〉バッファ 20max.

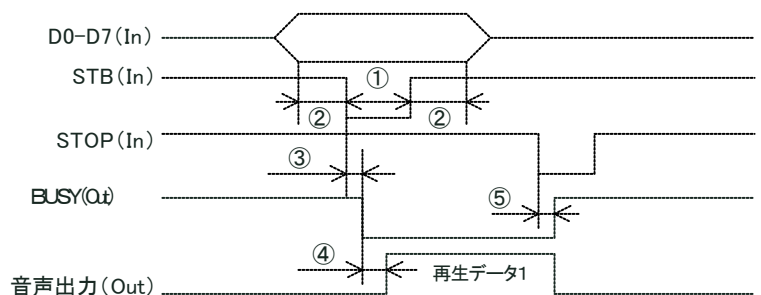
但し、STOP(0CH:FFH)のみは有効とし、再生中でも強制停止します。

外部 STOP 信号入力にても即停止します。

受信及び再生出力のタイミングは以下の様になります。



No.	信号名称	時間
①	STB 入力時間	50ms min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	130ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.



VoiceNavi

19.操作 シリアル制御

シリアル制御の場合、組立バッファを使用することにより、1CH(フレーム)、最大 10 データまでを組立再生できます。また、受信バッファにより、最大 20CH まで再生中でも受信できます。

- ① 再生チャンネル 1CH~255CH。
- ② <組立再生>バッファ: 1フレーム 10 データ max.
- ③ <再生中受信>バッファ: 最大 20 個
再生中でも受信を行います。
再生順番はFIFO形式とし古いデータより再生
受信バッファがフル(満杯)で以降のデータは無効となり、バッファに5個の空きが生じると受信可能とします。
外部 STOP 信号入力もしくは FFh 入力にて再生を即停止し、受信バッファを全てクリアにします。

① フレームデータ送信フォーマット



チャンネルデータ は3コードで表す

例)10hと125CHの表示

10 (進表示) → 0010 (進表示) → ~~303031h~~ (コード表示)

125 (進表示) → 125 (進表示) → 31h32h35h (コード表示)

BCCの範囲はフレームデータからETXまでとする

例)10hと15hと125hを送信

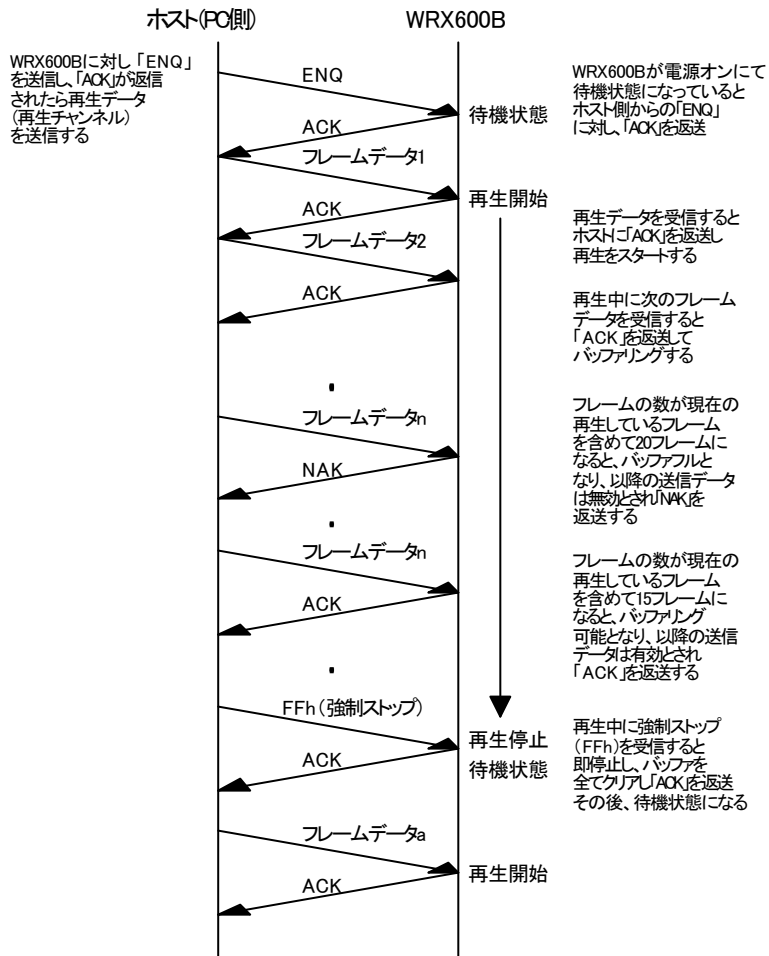


	コード	バイナリ
10h	30h	00110000
	30h	00110000
	31h	00110001
15h	30h	00110000
	31h	00110001
	35h	00110101
125h	31h	00110001
	32h	00110010
	35h	00110101
ETX	03h	0000011
BCC	30h	00110000

BCCの算出は、バイナリ に於いて
各ビットのEXORをとる

VoiceNavi

② 制御手順



注1．ホスト側の「ENQ」送信に対し、WRX600Bが待機状態(受信可能状態)であると「ACK」を返送します。

注2．「NAK」が返送されるのは、バッファフルの時と受信データにエラーが発生した時です。

20.カードデータの作成・CFカードへのコピー

エディタソフト VoiceNavi Editor を使用してカードデータ作成を行って下さい。

カードデータの作成・カードへのコピー方法はエディタソフト VoiceNavi Editor のユーザーマニュアルをお読み下さい。

WAV/WRXシリーズはエディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)上で音源データ(WAVEファイル)を試聴しながらアドレス登録、組立再生などのプログラム登録、カードデータファイル作成などができます。

VoiceNavi Editor 登録エディタソフト



録音または既存の音源データ(WAVEファイル)を登録して、WAV/WRXシリーズ用のカードデータを作成できます。その際、組立再生レポート回数などのプログラムができます。

組立再生 1 接点-8wave max.
レポート回数 1 接点-5 回 max.

VoiceNavi Announcer <テキスト入力>音声データ作成ソフト



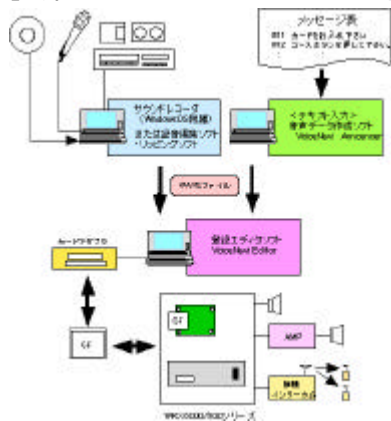
(Excel アドオンソフト)
Excel 上のセル内に入力したテキストデータを試聴してから、WAVEファイルに出力・保存できます。登録エディタソフト VoiceNavi Editor も収録されています。

VoiceNavi

【音源データの録音 作成並びにカードデータの作成】

WAV6000シリーズは、自社録音または既存の音源データ（ WAVE ファイル ）を登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)を使用してカードデータを作成する方法と WRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する方法があります。

【登録エディタソフト VoiceNavi Editor を使用する場合】



- 録音・WAVE ファイル作成
- MD・DAT、マイクの場合
Windows / パソコン上で録音・ファイル保存
- オーディオ CD の場合
市販の録音編集ソフトまたはリッピングソフトで WAVE ファイルにコンパイルし、保存します。
- テキスト入力の場合
市販のテキスト音声変換ソフトまたは <テキスト入力> 音声データ作成ソフトで WAVE ファイル保存。
- WRX6000 シリーズ用カードデータの作成
登録エディタソフト VoiceNavi Editor で試聴しながら WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム登録し、カードデータ作成します。
- CF カードへコピー
作成したカードデータをカードアダプタ経由でコピーします。

VoiceNavi Editor No.- アドレス対応表

VoiceNavi Editor No.	クライアント側 (バイナリ制御)	クライアント側 (シリアル制御)
-	FFH(強制再生停止)	FFH(強制再生停止)
1	FEH	1
2	FDH	2
3	FCH	3
4	FBH	4
5	FAH	5
:	:	:
253	02H	253
254	01H	254
255	00H	255

21 . カードデータ互換性について

WRX6000/6300 は他の WRX シリーズや WAV シリーズとカードデータの互換性を有しています。
なお、他音声データ（WAVE ファイル）はエディタソフトでアドレス登録することにより、再利用できます。

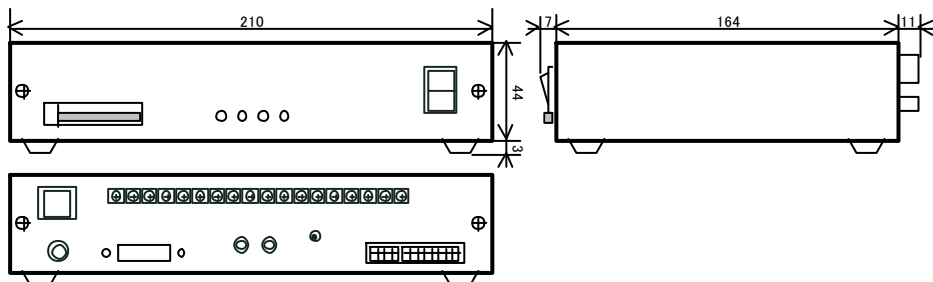
	カードデータ互換性	メモ
WRX7200II/7700II/7800II	◎	そのままご使用できます。
WRX6000/6300	○	SM->CF カードへコピーすれば使用できます。
WAV3000/-B/-R/300B/300B-B		
WRX6500	×	エディタソフトでアドレス登録することにより、再利用できます

VoiceNavi

標準仕様

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz AC 電源コード または DC+24V±5% (または DC+12±5%) M3 端子台																													
消費電流	AC100V時 待機時 約9W 最大時 約13W DC+24V時 待機時 約150mA 最大時 約230mA DC+12V時 待機時 約200mA 最大時 約380mA																													
寸法・重量	210W X 164D X 44H mm 突起部含まず 約2kg EIA 1U ハーフサイズ																													
塗装・仕上	グレー 焼付塗装																													
使用環境	使用時: -5°C~55°C 35%~80%RH 保存時: ?10°C~70°C (但し結露なき事)																													
再生方式	WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit mono PCM																													
再生帯域	300~10KHz																													
音声出力	LINE 出力 600Ω 0dBm RCAピン コネクタ: CN* * SP 出力 0.5Wmax.8Ω コネクタ: CN8																													
ライン入力 (ミキシング用)	LINE 入力 不平衡 0dBmax. 1KΩ RCAピン (レベルカット機能) 再生時、ライン入力側をカット																													
音量調整	SP 出力 リアパネル可変 VR (シャフト式) LINE 出力 ボード上半固定 VR3 ?3dB~8dB																													
適用カード	Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB 1枚 max.																													
登録 CH 数	■バイナリ制御 255CHmax ■シリアル制御 255CHmax																													
	カード容量とサンプリングによる <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">44.1KHz</th> <th colspan="2">22.05KHz</th> </tr> <tr> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> <td>89.6 分</td> <td>179.2 分</td> </tr> </tbody> </table>	カード容量	44.1KHz		22.05KHz		16Bit	8Bit	16Bit	8Bit	32MB	5.6 分	11.2 分	11.2 分	22.4 分	64MB	11.2 分	22.4 分	22.4 分	44.8 分	128MB	22.4 分	44.8 分	44.8 分	89.6 分	256MB	44.8 分	89.6 分	89.6 分	179.2 分
カード容量	44.1KHz		22.05KHz																											
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit																										
32MB	5.6 分	11.2 分	11.2 分	22.4 分																										
64MB	11.2 分	22.4 分	22.4 分	44.8 分																										
128MB	22.4 分	44.8 分	44.8 分	89.6 分																										
256MB	44.8 分	89.6 分	89.6 分	179.2 分																										
再生時間	登録時間またはホスト側でデータ組立出力をした場合はその内容による																													
制 御	■バイナリ制御 IN: /D1-7 /STOP /STB 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT: /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA) ■シリアル制御 通信方式: 非同期式 全2重 通信速度: 9600bps データ長: 8ビット パリティ: non ストップ: 1ビット コード体系: ASC II コネクタ仕様: D-SUB9 ピン IN: /STOP 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT: /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA)																													
オプション	Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB (メーカー・型式指定有) エディタソフト ソフト単体 VoiceNavi Editor CD-ROM 版 パック版 VoiceNavi Editor (USB カードアダプタ付) <テキスト入力>アナウンサーソフト ソフト単体 VoiceNavi Announcer CD-ROM 版 パック版 VoiceNavi Announcer (USB カードアダプタ付)																													

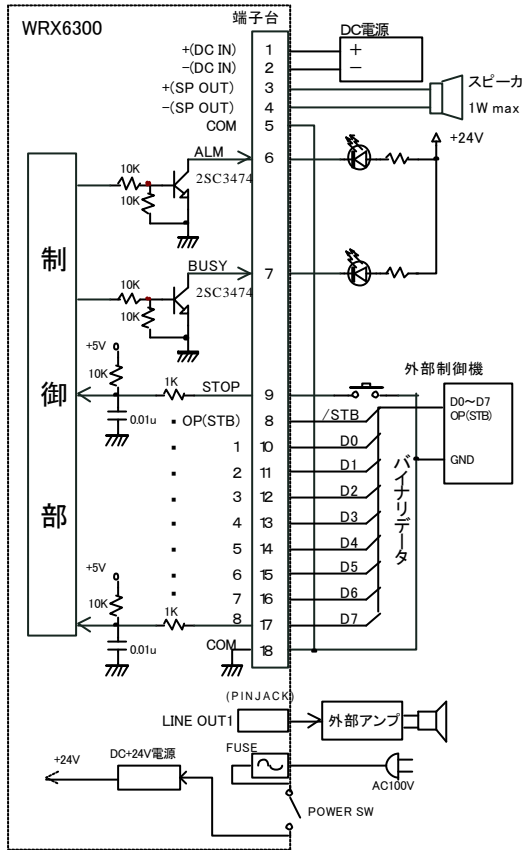
【外形寸法図】



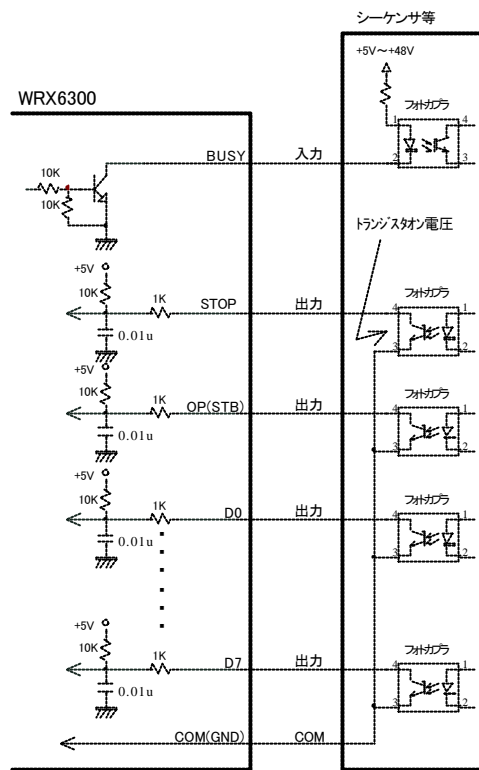
VoiceNavi

接続参考図 (注)耐ノイズ・耐振動対策したく FA 仕様>ではありません。

バイナリ制御

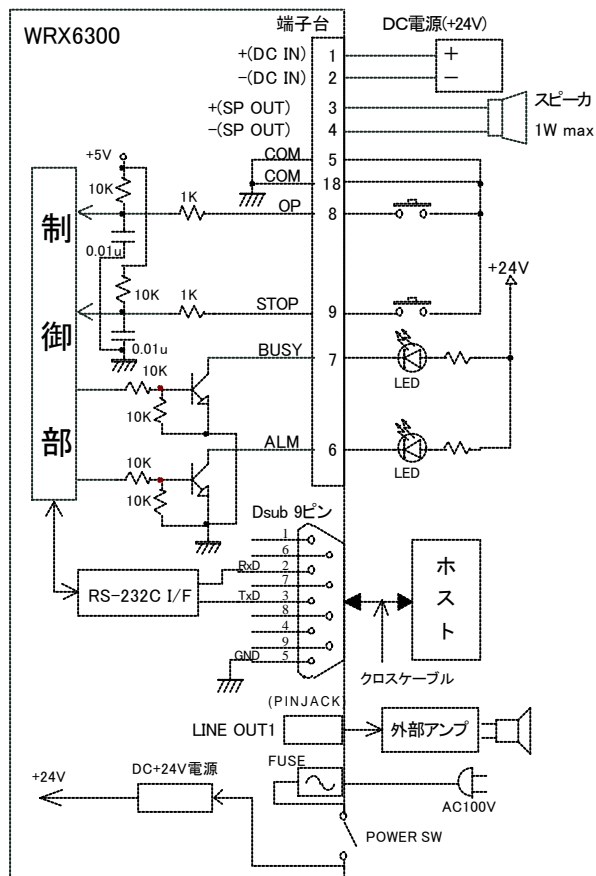


[シーケンサと接続する場合]



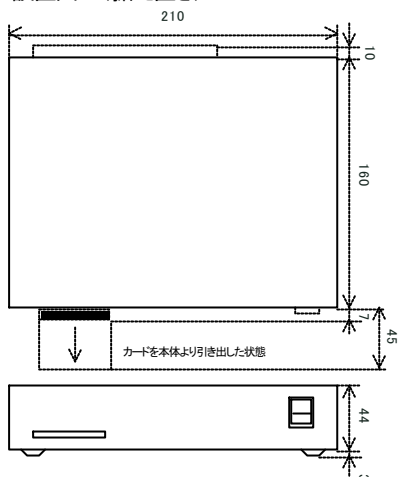
(注)
トランジスタのオン電圧が0.8V以下のものを御使用願います。
リレー出力のシーケンサは使用できません。

■シリアル制御

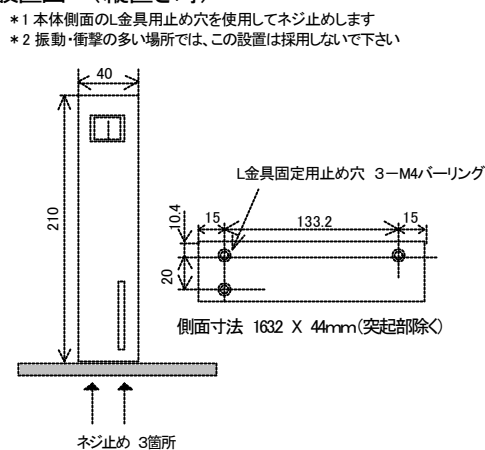


設置方法

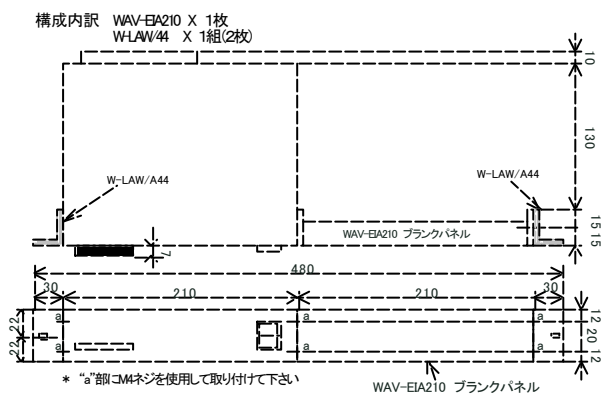
設置図 (据え置き)



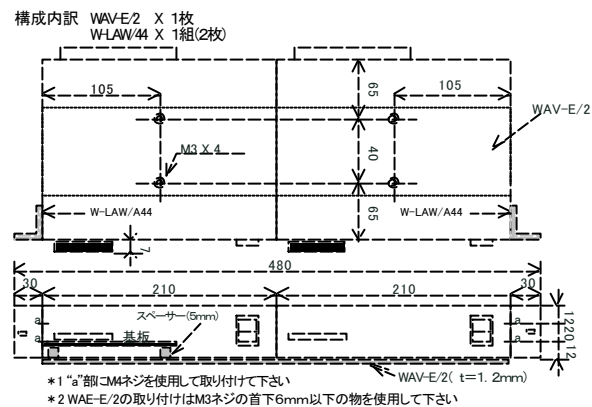
設置図 (縦置き時)



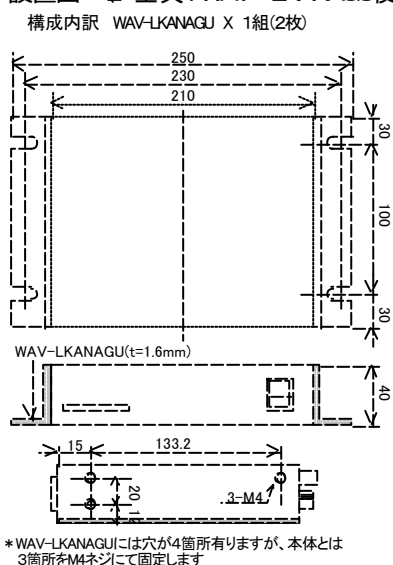
設置図 (EIAラックに1台収納時)



設置図 (EIAラックに2台収納時)



設置図 (金具: WAV-LKANAGU使用時)



(注) Windows は Microsoft 社の商品名・商標登録です。

その他の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17 TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

URL <http://www.voicenavi.co.jp/> E-mail: info@voicenavi.co.jp